

令和3年11月
障がい福祉課

障がい者理解・啓発授業 実施報告

日時 令和3年6月7日 午前9時45分から10時35分

場所 足立区立東綾瀬中学校

方法 全校生徒を対象に、zoomを利用したによるWeb授業（生徒は各クラスで視聴）

内容 社会教育DVD「障害のある子 障害のない子～ちがいを認めて助け合おう～」視聴
啓発授業「ともに生きる社会をめざして」 障がい施策推進担当

生徒の主な感想（原文まま）

1年生
障がいには様々な種類があり、その種類によって配慮がされているということが分かりました。また、障がいがない人にも役立つしくみがあることも分かりました。人は皆違うものなので、個性を認め合い、差別の無い世界にしていきたいと思いました。この授業を通して障がいへの考えが深まりました。
きちんと障がいを理解することは大事で、自分たちにできることがあることが分かった。障がいをもってる人も自分なりにがんばってたから、できることをし支えてあげたいなと思った。自分の知らないことも知ることができたから、もっと理解をふかめたい。
障がい者の人が一般の人とふつうに生活するのは、今まで無理だとおもっていたけど、今回の話を聞いて、一緒に生活することができると思いました。一般の人と障がい者の人が共存できる社会にしていきたいと思いました。
母親も福祉の仕事をしていてときどき話すのでさらに深まった。まだ障がいのある方とのきよりはあるのでそれを縮めるような行動をしたい。それぞれの個性があり、それを認め合うことが大切だと学んだ。
バービー人形に障がいを持っている人がいて、バリアフリーにも関係されているんだと知って、「ドリームハウス」とか言っていたけどけっこう現実的だったのが意外だった。点字ブロックやスロープなど最近バリアフリーの場所が増えてきたのに、自転車などで道をさまたげるなどのことがよくある→私たちにも関係がある。見の回りにはたくさんのユニバーサルデザインやマークがあるので家に帰ったら探してみよう！（リモコン、シャンプー、電たくなど）
身近なところにも障害者のひとのための工夫がしてあり小さなことでも障害者の役に立っていてすごいと思いました。これから、障害者の人も障害のない人といっしょに仕事や生活できる社会になったらいいなと思いました。

元々障がいなどにきょうみがあったのでこのお話でもっとたくさんを知れました。
私のしんせきにもしかくしょうがいの人があるので、色々とサポートしたいです。
いとこがちょうかくしょうがい者ですが手話で話すのがとても楽しいのもっと上手になって
人を助けられようになりたいです！
お話、ありがとうございました！

2年生

障害がある人にばかり気づかうのではなく、障害がある人もない人も、ふつうに、公平に暮らせる世の中にすることが大切なんだと思いました。

また、障害がある人を認めて、自分にできることを行うということをしていきたいと考えました。

人それぞれ個性や特徴をもっていて、生きていて、人により色々な思いをしながら生活していることが改めて分かりました。

障がいは色々なのがあり、私達はそれにあった接し方や配りょが大切ということを知れました、見て障がいの方と分かる人と、心の中に持っている障がいの方は、見て分からず、はじめは関わりが難しいかもだけど、「ノーマライゼーション」障がいの人がいって当たり前。

これからは、自分自身でも、階段や声かけなど、小さな事でも役に立てる行動をしていきたいです。

1人1人個性があって考え方などが違うし、障がいなどがあっても1人1人同じく権利があることを再確認できた。

障がいのある人でも、障がいのない人と同じ風にいきていけることがわかった。

ノーマライゼーションという言葉を知った。

ユニバーサルデザインは障がいがある人もない人も便利になることがわかった。

障がいのある人も、ない人も同じように暮らしていけるのはすごくいいなと思ったので実現できたらいいと思う。

私たちが普段、あたりまえのものだと思っているものが人によってはできないことがあったり、なくてこまっている人がいたりすることが分かった。

障がいがある人の気もちになって…とは考えにくいけどもしも自分がその立場だったらと考えると障がい者の人たちのことを少しでもわかることができる。

どんな人でもお互いに助け合えとうれしいから自分から行動していきたい。

みんなが同じようにくらすことができればいいと思った。

私のまわりにも何人か障がいをもった人がいるけど、どうサポートしていいのか、どうせつればいいのかわからなかったけど、今日おしえてもらったことや、パンフレットにのっていたことを参こうにしてみたいと思いました。

より早く、みんながくらする町にするために、全員が障がいに対して、理解することが大切だと思いました。

動画最後の「合理的配りよ」を簡単に説明してくれたところで、1つ思った事があります。私は今、現在日本では大きい人も中くらいの人も小さい人も同じサイズの台を同じ数 国 (?) からもらっていると思います。

また、私は小三の時の自由けん究でユニバーサルデザインとバリアフリーを調べました。とうじは、母にすすめられ調べていましたが、今この授業を受けてまた調べてみようと思いました。

障害者と差別なく互いに生活していくには、バリアフリーはもちろん、特別視などをしないことなども必要なのだと分かった。気づかいをしていくことは大切だが、かどな特別視は相手の気持ちを痛めさせてしまうので、そこを注意していきたい。

3年生

障がいとは目に見えてわかるものとそうでないものがあるとわかりました。

私が小学校の頃言っていた児童館には聴覚障がいを持っている子がいて、よく遊んでいたので話せたらいいなと思ったので手話を覚えた記憶があるのですがすごく難しかったので、障がいをもっている本人も周りの人もすごいなと思った事を思い出しました。

今日の授業で改めて感じる事が多く自分が思っているより色々な人がたくさんいるなと感じました。

今日の事をうまく生かしていきたいと思いました。

私の身近では足が悪いおじいちゃんや耳の不自由な方がいます。

でも、おじいちゃんは、おばあちゃんや周りの人にサポートしてもらい、耳の不自由な方は、補聴器をつけて会話をしています。

私は今日、エレベーターの入口で困っているおじいちゃんを見つけました。

今日がおばあちゃんがとりにいなかったなので、かわりに手助けをしました。

私はとても気持ちの良い気分になりました。

サポートするのはするのもしられるのも気持ちのいいことなんだなと思いました。

また、サポートは人だけではないことも知れたので、とてもいろいろなことを学ぶことができました。

ありがとうございました。

世の中には、いろんな障害を持っている人がいて、私たちの行動によって障害者は変わることがわかりました。

目の見えない人がいたら、信号が青になったら声をかけたり、駅のホームに落ちてしまう事故もあるので注意をしたり、点字ブロックに物をおいたり、立ちどまったりしないこと。

耳が聞こえない人がいたら、耳が聞こえないので無理にベルを鳴らさないでゆっくり自転車をおしたり、少しでも簡単な手話を覚えたりしてコミュニケーションをとったりしたいです。

電車にあるミニモニターは、障害の人や外国人のためにあるんだなとわかりました。

私たちの少しの気づかいによって変わるんだなとわかったので心がけようと思いました。

私のマンションにも車いすに乗っている方がいて、学校帰りによく会うんですけど、車いすだから、私が乗ったらエレベーターがきつきつになるので私は、その時は階段でいっています。私は、福祉などに興味を持っているので、この授業を受けて、もっと興味を持ちはじめ、私も障害者の方をサポートしてみたいと思うようになりました。

もし近くに、障害者の方がいたら、そっせんしてサポートしたいです。

ありがとうございました。

今回の授業を通して障がい者だからと過度に特別扱いしすぎずに接することが必要なんだなと思いました。

障がいにも色々な種類があり、人によってサポートの仕方や声のかけ方が違うことをしっかり覚えておきたいです。

私はバービー人形のものがとても良いと感じました。

小さい頃から自然に車いすに対する理解やバリアフリーについて知ることができるのは将来に役立つのでもっと普及するべきだと思いました。

「障がい」と言っても色々なものがあるのが分かりました。

視覚、聴覚、精神、肢体などの障がいがあるのは知っていたけれど、内部障がいは知りませんでした。

登校しているときに、たまに知的障がい者の人に会うことがあります。

障がいだから仕方ないと思うのですが、やはり少し嫌悪感を持ってしまいます。

でも、受け入れられるように努力したいです。

私はほいく園の時に、近くの障がい者学校との交流があって、障がいについて教えてもらうことがありましたが、今日の授業であらためて知ることができてよかったと思いました。

見た目で分からなくても、障がい者かもしれないという意識を持って話しかけようと思いました。

今日の授業を受けて、障がいを持っている人だけでなく、困っている人に積極的に声をかけようと思いました。

障がいについて、小さい頃から教えれば、みんなが正しい知識を身に付けることができるんじゃないかなと思いました。